

《世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV) 2017年支援活動報告実績》

支援供与実績【2017年支援総額：1億2,095万6,155円】

支援国	金額	内容
ミャンマー	5,684万7,347円	<ul style="list-style-type: none"> ■定期予防接種支援 <ul style="list-style-type: none"> ・注射器 ・アイスライン保冷庫…60台 ・ソーラー保冷庫…35台 ・ワクチン接種カード制作
ラオス	2,154万0,481円	<ul style="list-style-type: none"> ■定期予防接種支援 <ul style="list-style-type: none"> ・BCGワクチン…75万7,335人分 ・日本脳炎ワクチン…6万4,858人分 ・注射器、セーフティボックス（使用済み注射器回収箱）
ブータン	2,176万0,325円	<ul style="list-style-type: none"> ■定期予防接種支援 <ul style="list-style-type: none"> ・経口ポリオワクチン…8万3,000人分 ・BCGワクチン…10万人分 ・MMR（おたふく風邪、はしか、風疹）ワクチン…3万3,500人分 ・DPT（ジフテリア、百日咳、破傷風）ワクチン…3万1,000人分 ・TD（破傷風、ジフテリア）ワクチン…6万2,000人分 ・B型肝炎ワクチン…2万7,000人分 ・アイスライン保冷庫…5台 ・保冷庫…15台 ・コールドボックス…30個 ・定電圧装置…25台 ・温度計（30日間記録）…200個 ・注射器
バヌアツ	2,080万8,002円	<ul style="list-style-type: none"> ■定期予防接種支援 <ul style="list-style-type: none"> ・五価（ジフテリア、百日咳、破傷風、B型肝炎、髄膜炎桿菌b型（Hib）による細菌性髄膜炎）ワクチン…3万3,000人分 ・ソーラー保冷庫…3台 ・注射器、セーフティボックス（使用済み注射器回収箱）、保護者への啓発教育、ヘルスワーカー研修

※人数は提供した各々のワクチンの対象者数を合計した延べ人数です。

■ ラオス人民民主共和国



経済成長に加え、貧困削減や母子保健の改善などが見られるラオス。子どもの死亡率にも減少が見られますが、同国の1歳児のうち、すべての推奨ワクチンを接種しているのは全体のわずか1/3です。特に、道路がないような遠隔地の子どもの接種率は低く、前進のスピードに停滞が見られます。政府は、ワクチン接種費用の予算を約3倍に増やすなど対応をしていますが、十分ではありません。資金ギャップを補うために、JCVは、ワクチンと接種機器を贈り、引き続き同国のワクチン接種を支援します。

【支援内容（2018年向け）】21,540,481円

- ワクチン：BCG 757,335人分、JE（日本脳炎）64,858人分
- コールドチェーンなど：注射器、セーフティボックス（使用済み注射器回収箱）

<世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）ホームページ>

<http://www.jcv-jp.org/>